

社会科部門

■総評■

今年の特徴は、①今日的な問題になっている環境問題をテーマに取り上げているものが多かったこと、②低学年で平成4年から実施される「生活科」そのものと思われる作品ができたこと、③同じ生徒が2年、3年と同じテーマに継続して取

り組み、内容にも深みが増している作品が増えてきたことの3つです。

自分に関心のある身近な所から課題を見つけ、自分の方法で観察、調査し、解決法を探したりまとめたりしている作品が多く、好感がもてました。

文部大臣奨励賞

おしごと日記

岐阜県柳津町立柳津小学校
2年 森 由佳



研究の動機…わたしは、お手伝いが大好きです。夏休みはお手伝いをたくさんして、そうじやせんたく、おりょうりの作りかたをおぼえたい。

構成…夏休み中、毎日自分でやった仕事のことを絵と文にし、お仕事をしてわかったことや感想を書く。また、夏休み中、毎日家族がどうい

う仕事をしたか表にしてまとめる。感想…そうじ（おふろ、げんかん、かいだん、トイレなど）、せんたく、ちゃわんあらい、か

いもの、車あらい、りょうりなど、いろいろなお仕事をおぼえられてよかった。お母さんから一言…勉強も大事だけど、体や頭をつかってやるお仕事もすごく大事な

■選評■

自分に関心のある身近な所から素直に問題を探し、自分なりの表現方法でまとめており、好感がもてました。家族のあったかい協力の様子もうかがえます。

ONE POINT アドバイス



▲「雲仙岳の研究」

岐阜県岐阜市立長良中学校

1年 尾内 史朗

雲仙・普賢岳の噴火の開始より、新聞報道資料と現地取材の様子を始め、多くの火山災害についての研究資料を加えた積み重ねの研究の熱意が伝わってきます。

現地取材でもっと聞き取りしたり、自分に何ができるか追求してみるとよいですね。

雲仙・普賢岳は今なお活動中です。研究の継続を期待します。

社会科部門入賞者

◆文部大臣奨励賞

「おしごと日記」

◆優秀賞

「アーチ・橋の旅」

「邪馬台国はどこにあったか」

「私達の環境」

◆優良賞

「かまぼこのできるまで」

「水ができるまで」

「ごみ問題の研究」

「大切な水・柳津町上水道」

「大井川の洪水対策」

◆佳作

「どうぶつびょういんたいけんき」

「寺小・一年」

「寺小・二年」

「寺小・三年」

「寺小・四年」

「寺小・五年」

「寺小・六年」

「寺小・七年」

「寺小・八年」

「寺小・九年」

「寺小・十年」

「寺小・十一年」

「寺小・十二年」

「寺小・十三年」

「寺小・十四年」

「寺小・十五年」

「寺小・十六年」

「寺小・十七年」

「寺小・十八年」

「寺小・十九年」

「寺小・二十年」

「寺小・二十一年」

「寺小・二十二年」

「寺小・二十三年」

「寺小・二十四年」

「寺小・二十五年」

「寺小・二十六年」

「寺小・二十七年」

「寺小・二十八年」

「寺小・二十九年」

「寺小・三十年」

「寺小・三十一年」

「寺小・三十二年」

「寺小・三十三年」

(岐阜・柳津小二年) 森由佳

(岐阜・聖徳学園小五年) 野瀬朗満

(岐阜・境川中二年) 吉村研太郎

(神奈川・第一中三年) 浅見淳一郎

(他10名)

(東京学芸大学附属小金井小一年) 家村早紀子

(東京・高井戸小四年) 太田智子

(岐阜・柳津小四年) 安藤祐資

(岐阜・柳津小四年) 森あさ美

(静岡・安東中二年) 伊藤智江

(東京学芸大学附属小金井小三年) 木原まり

(「ぼくの町東海岸北一丁目」)

(神奈川・茅ヶ崎小三年) 城戸教裕

(「りょうしき」)

(神奈川・室田小三年) 椎原由衣

(「その袋捨ての待った」)

(岐阜・長良西小四年) 服部貴智

(「萩窪駅付近の歴史と史跡めぐり」)

(東京学芸大学附属小金井小五年) 長尾智子

(「茅ヶ崎の歴史を調べてみる」)

(神奈川・東海岸小六年) 永沢真紀

(「高桑太鼓の歴史」)

(岐阜・柳津小六年) 星野多映

(「真宮遺跡の発掘」)

(愛知教育大学附属岡崎小六年) 山田千晶